

第9回大阪大学野田村サテライトセミナー 「中継交流会～のだ暮らし体感交流ツアーを振り返って～」

2013年11月11日、大阪大学未来共生イノベーター博士課程プログラムのもと開設された「大阪大学野田村サテライト」にて、「第9回大阪大学野田村サテライトセミナー」を開催しました。今回は「交流コース」第2回目として、「のだ暮らし体感交流ツアー」に関する中継交流会を行いました。「のだ暮らし体感交流ツアー」とは、今年9月8日から10日にかけて、野田村役場特定課題対策課と大阪大学災害ボランティアサークルすずらんの合同企画として行われたものです。さまざまな体験活動を通して、被災地の現状や野田村の魅力をすることで、野田村との関わりを継続し、今後も村を応援するといった「野田村ファン」の学生を増やすことをねらいとしたツアーです。大阪大学と弘前大学の学生十数名が参加し、野田村で民泊等の体験活動を行いました。セミナーでは、ツアーの体験活動の受け入れ先となった野田村の方々をお招きし、今後のツアーをよりよくするための話し合いや、大阪大学生との交流を行いました。

セミナーの様子



セミナーの様子



今回のセミナーには、「のだ暮らし体感交流ツアー」の受け入れ先の住民のみなさま、ツアーに興味をお持ちの野田村の方々、野田村役場特定課題対策課の方々、未来共生プログラムの事務の方々に参加していただきました。大阪大学からはツアーに参加した学生を含む4名が、遠隔通信を通してセミナーに参加しました。

遠隔通信の様子



ワークショップの様子



今回のセミナーは「のだ暮らし体感交流ツアー」の振り返りの一環として行われました。開会の後、まず始めに「のだ暮らし体感交流ツアー」の動画鑑賞をしました。この動画は、野田村役場特定課題対策課の方が撮影・編集してくださったものです。ツアーの流れや参加した学生の様子がよく伝わってくる動画でした。

動画鑑賞の後は、ワークショップを行いました。テーマは「今回のツアーの振り返り」と「次回（来年 2 月）のツアーについて」の 2 つのテーマについて、3 班に分かれて話し合いました。各班で意見を出し合い、班ごとに発表を行いました。最初のテーマでは、参加した学生からは「ツアーを通して、今まで知らなかった野田村を発見できた」「漁師さんの家に民泊して、漁業体験ができて良かった」という感想があり、受け入れ先の方からは、「最初は緊張してしまった」「楽しかった」「もっと時間があればよかった」などという意見がありました。ツアーに参加していない方からは、「野田村の好きなところベスト 3 は何か」「他の人にツアーのことをどう伝えたか」など、参加した学生への質問がありました。2 つ目のテーマでは、今回ツアーの感想や反省点をもとに来年 2 月に行われる次回のツアーについて話し合いました。「季節は冬なので、冬の野田村のいいところ、冬の野田村ならではの文化を体験できるツアーにしてはどうか」という意見や、「ツアーを季節ごとにやってはどうか」「ツアーが終わってからも野田村の方と学生が個別で交流できる工夫が必要なのではないか」という意見など、ツアー内容だけにとどまらず、様々な意見が飛び交いました。

ワークショップを通して、学生を受け入れて下さった野田村の方々の気持ちや企画してくださった村役場の方の意見など、今後、学生たちが野田村で活動が続けていくうえで重要な声を聞くことができました。今回の意見交換を生かして、より野田村に寄り添った活動をしていただきたいと思います。

ワークショップの様子



ワークショップの様子



今回の野田村サテライトセミナー交流コースには、多くの方に集まっていただきました。また、遠隔通信を利用して大阪大学生との意見交換もでき、サテライトを存分に活用したセミナーとなりました。ありがとうございました。野田村サテライトセミナーでは今後も様々なコースを設け、多くの方に参加していただけるセミナーを目指します。また、サテライトに導入された遠隔教育システムを存分に活用し、サテライトでの研究・教育に参加できるシステムをさらに充実させていきます。次回は 12 月 11 日です。